

真誠

学校だより
No.6
西東京市立
田無小学校
令和5年
9月29日

見えないものを見る力

副校長 西村 太吾

① 西村君が涙を流しています。

西村君の心や気持ちをずばり一言で表現してみてください。「悲しい?」「寂しい?」「つれい?」「いっつかの心情を想像することができると思いますが、ずばり言い当てるのは難しいですね。

では、これならばどうでしょう。

② 西村君が涙を流しています。

かわいがっていた金魚が死んでしまっていたのです。

こうなると、「悲しい」「気持ちなのだ」と想像しやすくなります。

①も「涙を流しています」とあるので、何か大きく心が動いていることは分かります。でもはつきりしないのは、「なぜ涙を流しているのか」が分からないからです。そのきっかけや背景が分かってくると、気持ちがぐっぐと想像しやすくなります。

私が担任をしていた頃、子供たちに

は、相手の気持ちや心を想像するときには、「何か心が動いていることがわかる行動や言葉」と、「そのきっかけや背景」をセットで見つけることが大事なのだ、繰り返し指導してきました。

①と②の文を示し、考えさせ、「(1)にも『悲しい』と書いていないのに、みんなは『悲しい』という気持ちを想像することができたのですね。『見えないものを見る力』がみんなにはありそうですね。」と、こんな風に子供たちに言いながら、表面的に見える相手の言動だけでなく、そのきっかけや背景に目を向けさせるような指導をしてきました。

「先生、●ちゃんが叩いてきた!」「それは嫌だったね。大丈夫?●ちゃん、どうしたの?どうして叩いたのかな?」

「だってね、◆君が鬼ごっこに入れてくれないんだもん。『入れて』って何度もお願しているのに。」

「そうか。●ちゃんは入れてもらえなくて悔しかったのね。嫌だったね。それでつい叩いてしまったのね。」

「・・・。叩いてごめんね。痛かったよね。」

「僕も入れてあげなくてごめんね。いじわるだったよね。」

これはとても単純な例ですが、お互いの行為や言葉にだけ焦点を合わせるのではなく、そのきっかけや背景を考えさせ、そのうえでお互いの心情を想像できるようにさせたいと思っています。

子供たちにこのように指導をするうえで、私たち教員も、子供たちの言動の表面だけ捉えることをせず、その理由や背景を考えるようにしています。思い込みや決めつけで指導をすることがないようにしたいのです。

我が家で長女が荒れています。家族への態度がよろしくありません。ここで「見えないものを見る力」を発揮すべきかなと思ひ、ガツンと叱るのを踏みとどまりました。どうやら恋人とケンカ中のようなようです。今回は見えないものを見えないままにしておくことにします。父親としてはあまり踏み込みたくない内容です。



十月の主な行事予定

31	30	27	26	25	24	23	20	19	18	17	16	13	12	11	10	9	6	5	4	3	2	
火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	
	委員会 交通公園(わ低)	セーフティ教室(3)	遠足(3) セーフティ教室(4)	セーフティ教室(6)	セーフティ教室(1・2)	セーフティ教室(5) 歯科衛生指導(6)		遠足(2)	タグラグビー授業(5)		笑顔プロジェクト(6)			午前授業	クラブ活動	スポーツの日	午前授業 研究授業 歯科衛生指導(わ)	遠足(5) 歯科衛生指導(1)		町探検(2) 安全指導	避難訓練・煙体験 委員会	

※今月のスクールカウンセラー来校日は6日、13日、20日、27日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

150周年を盛り上げよう

特別活動部 室岡 宗一朗

田無小の150周年をお祝いするために代表委員会を中心に企画を考えて、実施しています。一学期に行った企画は、『150周年チャレンジ』です。クラスごとに「本を150冊読む」や「大縄を150回跳ぶ」、「150秒全力教室掃除」など、150に関係する8つのチャレンジに取り組みました。全部クリアしたクラスには、代表委員作成の賞状を贈りました。クラスの友達と楽しく協力しながら、周年への意識を高めることができました。

二学期には、特別復活の子フェスと周年の記念児童集会が予定されており、さらに全校を盛り上げていけるように話し合いを重ねています。十二月の記念児童集会では、代表委員が主導となり全校で遊んだり、バルーンリリースをしたりします。今は、具体的な内容についてアイデアを出し合っているところです。田無小の記念すべき150回目の誕生日を皆で楽しくお祝いしていきます。

きらきら一年生

一年担任 川崎 祥子

入学してから半年が経ちました。九月末には、初めての校外学習があり、遠足で航空公園に行ってきました。電車の中では静かに過ごし、友達と仲良く順番に席に座る姿も見られました。また、広い原っぱで行ったミッションゲームでは、グループごとにまとまって行動したり話したりしながら、ミッションクリアを目指して活動しました。遠足を経て、さらに心も体も成長した一年生です。

二学期からは、六年生に教えてもらった掃除の仕方を思い出しながら、自分たちだけで掃除を行っています。自分たちで考えながら行動できる場面も少しずつ増えてきて頼もしく感じています。

残り半年も、きらきら目を輝かせながら様々なことに挑戦していけるように、担任一同協力しながら、指導や支援をしていきます。

セーフティ教室

生活指導部 石川 博也

十月二十三日（月）～二十七日（金）に、セーフティ教室を行います。セーフティ教室は、関係機関と協力をして、非行防止や犯罪被害から身を守るための取り組みとして毎年実施しています。

一・二年生は「安全教育」を実施して、自分の身を危険から守る方法について学びます。三年生は、「万引き防止」について学び、万引きは絶対にしてはいけないということを確認します。四・五・六年生は、「ケイタイ安全教室」を実施し、スマホやタブレットなどの正しい使い方について改めて確認する時間していきます。

普段から安全に過ごすための指導はしていますが、児童一人一人が改めて、事件やトラブルから身を守るために必要なことをしっかり認識し、今後の生活に生かして欲しいと思います。

避難訓練・煙体験

生活指導部 中川 広

十月の避難訓練は、火災を想定した避難とそれに伴った煙火災の対応の仕方について学ぶ訓練になっています。消防署の方に田無小に来ていただき、煙体験の設備を準備いただき、実際に煙の中を避難する体験を行います（一年・三年・五年・わかば学級）。ハンカチを口元に当てること、低い姿勢で煙を避けながら移動することで煙を吸い込まないようにして、自分の身を守る方法を確認したいと思います。

これからの時期、気温が下がってくると空気が乾燥したり、暖房を使ったりと火災につながるが増えてきます。ご家庭でも、電化製品や暖房器具などの点検や電源まわりの掃除などの安全点検をすること、ご家庭での火気の取り扱いやいざという時の行動をお子さんと確認する機会にしてほしいと思います。訓練の当日もハンカチを必ず持つてくるようにお子さんとご確認をお願いします。